



藍サポ通信～明日に向かって～に掲載されている写真は、本人又は保護者の同意を得て掲載しています。



マスクの下は笑顔で



新型コロナウイルスに関しましてはただ不安を抱えながら生活を送っていません。事業所でも外出を控えている中、利用者さんもストレスがたまっていたり、エネルギーの発散も出来ず表情も曇りがちになっていました。

そんな中、第二ひらのはどのように利用者さんが楽しく日中生活が送れるよう、職員一丸となり、いろんな企画を考え取り組みました。その一つは1階グループ②と3階グループ③

の合同少人数での短時間外出の企画です。3密を避けクラスターを発生させないように利用者さん、職員あわせて4～5人のグループで、公園で昼食を食べたり、散策、コーヒータ임을楽しみました。出来る限り感染リスクを避けるため2、3時間という時間の制約がありましたが、利用者さんの気持ちや意見を形に出来るように取り組みました。感染予防のための利用時間短縮中の今回の取り組みでは、事業所内での密集をさける事だけでなく、利用自粛に対応する代替サービスとしての利用者支援と家庭内での介護負担の軽減にも繋がりました。

少人数での合同外出が楽しかったという意見が多く、6月と7月にも同様の外出を企画することになり、4チームに分かれ、行きたい場所をそれぞれが意見を出し合いながら計画を立てました。

まずは近場から行くという事で、天王寺の通天閣や北花田のイオンモールなどに行っています。今までの外出は1階、3階とばらばらで活動していましたが、一緒に行動する事で皆さん、違った雰囲気を楽しめていました。普段関わりが少ない利用者さん同士がお互い、声をかけ合ったり、話し合ったりと利用者さんの新たな一面を発見することもありました。

合同外出が終わり、帰宅後は家族やホームの人に嬉しそうに報告をしていたことや、日がたっても思い出し、「○○さんがこんななんてた」「○○さんと○○さんがあんなことして面白かった」などの会話が聞かれました。コロナウイルスの影響で一時は外出を控えることも検討しましたが、無事に皆さんと実行することができて良かったとおもいます。「また、このメンバーで行きたいな」という声もたくさんあり、年齢差があっても楽しく交流を重ねてもらいたいと思います。

遂に「ひら」でも

菜園部が始動!!

4月から新しく2人の仲間が加わった「ひら」ですが活動も自分達が主体的に取り組めるようにと「菜園部」活動を始めました。

野菜を育てる事は土の匂いを感じたり、小さな生き物に触れてみたりと人の感性を育ててくれる意味のあるものだと思います。皆で育てた野菜ならきっと特別な味がする！そんな思いを大切にしながら取り組んでいます。



名前の通り野菜を育てるので、スペースの制約から大きなプランターを置く事が出来ないで、小さな丸型プランターでネギを育てよう工夫しています。お世話をしているのは3階フロアで過ごす利用者さん2名で、その内の1名は4月から新しい仲間です。

利用者さんが興味を持ってくれるか初めは不安もあったのですが「お水をあげましょう」と職員が利用者さんに声をかけるとスッとコップを手に取り水を土にかけてくれたり、ネギが伸びてくると手で触り感触を楽しんだり「美味しいなあ」と言いながら眺めています。



そしてついに念願の収穫！職員と一緒にハサミでチヨキチヨキ切り取り、それを厨房の職員に「給食で使ってください」と渡しました。「何の料理に使ってくれるのか楽しみやね〜」とウキウキ話しながら待っているとその日の献立のお味噌汁に入れてくれました。



プランターが小さく収穫量も少ないので、利用者さんたちに行き渡った量はほんの少しでしたが、それでも市販のネギとは違う、少し固くて青々しい匂いのネギがお味噌汁に浮かんでいるのを見て「私たちが育てたネギが入ってる！」と3階フロアのメンバーで話しながら、美味しくいただきました。

今はまだ細々と活動を続けている「菜園部」ですが今後は野菜用のプランター等の農具も揃えていき、本格的な野菜作りに挑戦していきたいと考えています。



暑い夏・コロナも吹き飛ばせ！
子ども達のパワー！

今年は新型コロナウイルスの影響もあり、子ども達が例年楽しみにしていた屋上でのプールが中止となってしまいました。夏祭りの開催も危ぶまれました。

だが、いつもより規模を縮小し3密にならないような工夫、対面する出し物の場所に飛沫感染防止のパーテーションを設置、飲食を扱うお店の店員はフェイスマスクを着用するなどして、感染には最大限に配慮した形の開催となりました。



魚釣りやガチャポン、コイン落としなど色々なお店が出店され、子ども達も責任を持ってお店番を頑張っていました！お店を回る子ども達も豪華な景品を獲得する為、張り切って参加していましたよ。

夏祭り期間中のおやつはリクエストを聞きながら、屋台風のフランクフルトやポテト、チョコバナナなどのメニューで嬉しそうに食べており、お店で出店していたかき氷、わたあめも美味しそうに食べていました。

今回は子ども達も夏休みの期間が短くなり、外出などまだ配慮する点が多い中で、くれよんでは存分に楽しんでもらえたのではないのでしょうか。また来年は新型コロナウイルスが終息し盛大に夏祭りが開催されることを願っています。



楽しいひと時も
予防はしっかり！

地域生活支援センター
ERANOでは、新型コロナウイルスの感染予防及び拡大防止に最大限努めながら、余暇支援を継続して行っています。

以前、緊急事態宣言が出ていた時は、支援の時間を縮小したり、一時休止しなければいけない状況がありました。

その時の様子を利用者さん・ご家族さんに振り返って聞いてみると、「支援の再開を心待ちにしていた」という声が多く、利用者さんによっては「お出かけ出来ない事でストレスを抱えてしまった」「生活のリズムが乱れてしまった」という声もありました。

余暇支援そのものが利用者さんの生活の一部になっているんだと実感しました。

現在の余暇支援では、安全の確保が大前提となりますので、外出先でのマスク着用・手指消毒の徹底・食事をする時の座席位



置の工夫など利用者さんへ願う事もたくさんあります。

最初は少し戸惑う事もありましたが、今では利用者さん同士が声を掛け合って手指消毒をする場面も見られるようになりました。

最近では、コロナが終わったらいろんな場所に遊びに行きたいね！という話題も時々出るようになりました。

今は色々和我慢しなければいけない事もありますが、コロナ禍が過ぎればきっと今まで以上に楽しい余暇支援になると期待して、みんなで協力しながら現状を乗り切っていきたいと思えます。

新型コロナウイルスへの 法人の取り組み

前回は新型コロナウイルスに関する記事を掲載しましたが、現在も全国的に感染が広まっている一方で、大阪でも感染者数が増え身近に危機が迫ってきているように感じます。

法人としても引き続き職員、利用者さんへの体調確認、手指やフロアの消毒、三密にならないような環境や過ごし方に気をつけて現在も運営をおこなっています。

そのような中、法人では十一月～三月を感染予防強化期間と定め、その期間に向けてマスクや

消毒用エタノールを備蓄し、社員への配布や事業所内での十分な利用のため準備を進めています。

また、大阪市から「新型コロナウイルス感染症の感染防止対策の徹底について」の連絡が入り、その中に職員のためのチェックリストが掲載されていたので、

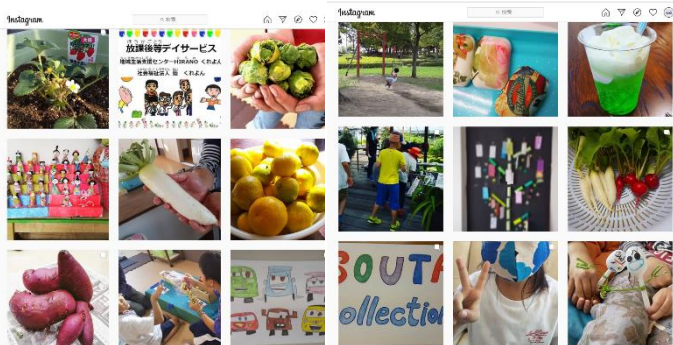
当法人では全職員に対してチェックリストへの回答を依頼し、新型コロナウイルスに対しての意識、対応について集計しました。集計された結果をもとに予防対策について改善策を検討していければと思っています。

利用者さん、ご家族の皆様も危機感を持ちながら、健康にはくれぐれも留意ください。

インスタグラム 日々更新中！

法人でインスタグラムを始めて約1年が立ちます。

季刊誌（藍サポ通信）は年に



インスタグラム

4回発行していますが、その間にも色々な行事や活動をしていますので、各事業所での日々の過ごしや何気ないことも随時投稿できれぱと思っています。
是非お時間のある時に覗いてみてください！